



「血圧脈波検査」について

末梢動脈疾患（PAD）の評価のための検査の一つとして、血圧測定のカフを装着するだけで簡単に計測できる ABI・TBI 検査という検査を行っているのでご紹介します。

● ABI・TBI 検査って何？

足関節/上腕血圧指数のことを ABI（Ankle Brachial Index）といい、両腕と両足首に血圧を巻いて上腕収縮期圧と足関節収縮期圧を計測し、その値を比べることで動脈の狭窄や閉塞を評価します。

また、足趾/上腕血圧指数のことを TBI（Toe Brachial Index）といい、足趾にも血圧計を巻いて計測することで、より末梢部位の動脈を調べることができます。足趾血管は石灰化を免れることが多く、TBI では石灰化の進行している患者さんでも閉塞疾患の存在を評価することが可能です。

さらに、当院で使用している機器では、心臓から足首までの動脈の硬さを CAVI（Cardio Ankle Vascular Index）という数値で同時に評価することができます。CAVI は近年“血圧に依存されない動脈硬化指数”としてその有用性が注目されています。

● 検査方法

- ① 椅子に座った状態で 15 分間安静にします
- ② ベッドに仰向けになり、両腕と両足首に血圧計（カフ）を巻きます（TBI の場合、足趾にも巻きます）
- ③ 心音図を計測するため、胸の真ん中辺りにセンサマイクを置きます
- ④ 心電図を計測するため、両手首に電極クリップを付けます
- ⑤ 測定開始とともに血圧計が加圧を始め、検査時間 5～10 分ほどで検査終了です



血圧脈波装置

● 検査結果からわかること

ABI・TBI・CAVIの基準値は以下の通りです

- 足首の血圧が高めです $1.40 < \text{ABI}$
- 正常範囲です $0.91 \leq \text{ABI} \leq 1.40$
- 末梢動脈疾患の疑いがあります $\text{ABI} \leq 0.90$

- 末梢動脈疾患の疑いがあります $\text{TBI} < 0.7$ $\text{CAVI} \geq 9.0$

● 末梢動脈疾患 PAD (Peripheral Artery Disease) って何？

全身の動脈の中でも、主に手足に血液を届ける動脈を「末梢動脈」といいます。この末梢動脈に動脈硬化が生じると手足に血行不良が起こり、歩行時に足がしびれる、痛い、冷たいなどの症状が現れます。

進行すると歩けなくなったり、じっとしていても足が痛むようになり、さらに悪化すると足に潰瘍ができたり壊死したり、ひどい場合は足を切断しなければならなくなることもあります。また、動脈硬化は全身的に進行するので、末梢の動脈硬化は心臓や脳の動脈硬化にもつながり、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞などの原因にもなります。

動脈硬化は加齢だけが原因ではなく、生活習慣病である高血圧、糖尿病、脂質異常症をはじめ、喫煙、ストレスなども関係することがわかっています。

これまで動脈硬化は治らない病気と認識されてきましたが、これらの原因を運動・薬剤・食事療法などを行い取り除くことで、改善する例があるといわれています。

PADを重症化させず、また合併症を防ぐには、早期発見・早期治療が重要です。



当院では、お手軽検査にて紹介したABI検査を行っています。検査したいと考えている方はぜひ、ご利用ください。

「四つ葉のクローバー」は当院のホームページ（インターネット）で公開しています。

ご参照ください。

ホームページアドレス <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>

